

(添付書類)

平成20年度

事業報告書

(第3期事業年度)



**FUKUSHIMA
MEDICAL
UNIVERSITY**

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日

公立大学法人福島県立医科大学

公立大学法人福島県立医科大学事業報告書

〈公立大学法人福島県立医科大学の概略〉

1 法人が設置する大学名

福島県立医科大学

2 本学の基本的な目標

福島県立医科大学の理念（平成15年3月26日制定）

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるという重要な使命を担っている。もとより医療は、医学と看護学が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営みである。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることが本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

- 1 ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。
- 2 最新かつ高度な医学および看護学を研究・創造する。
- 3 県民の基幹施設として、全人的・統合的な医療を提供する。

中期計画（平成18年度～23年度）

（基本目標）

- 1 医学部、看護学部の特徴を生かした密な連携を推進し、教育、研究、保健・医療・福祉、地域貢献等の領域で一層の充実を図る。
- 2 人間性豊かな高い倫理観と多様な資質を有し、課題発見・解決能力と高度な実践的能力を備えた医療人を育成する。
- 3 独創的で質の高い研究を推進し、医学・看護学の発展とより高度な研究能力を持つ研究者の育成を図り、国際的に高い水準の研究機関となることを目指す。
- 4 高度先進医療と過疎・中山間地域を含む地域医療の拠点として病院機能の高度化に努めるとともに、全人的・統合的な保健医療を提供する。
- 5 社会に開かれた大学として地域社会に貢献するとともに、研究、教育を通して国際交流を推進する。

また、公立大学法人の運営に当たっての基本姿勢は、次のとおりとする。

（基本姿勢）

- 1 公立大学法人としての特性を生かした個性的かつ持続的発展可能な大学創りに努める。
- 2 学生が大学及び本県の将来にとって貴重な財産であるとの視点に立って教育・研究の質の向上に努めるとともに、患者、県民の立場に立ってサービス向上に努める。
- 3 情報を積極的に公開することにより、県民に対する説明責任を果たす。

3 所在地

福島県福島市光が丘

4 資本金の状況

29,767,011,509円（全額福島県出資）

5 役員の状況

役職	氏名	担当・略歴等
理事長（学長）	菊地 臣一	
副理事長	丹羽 真一	副理事長（企画・人材開発担当）兼企画室長
理事	藤田 禎三	理事（教育研究担当）兼副学長兼学生部長
理事（非常勤）	平子 健	理事（経営・渉外担当）兼評価室長兼知財対応室長
理事	竹之下誠一	理事（医療担当）兼附属病院長
理事	野崎 洋一	理事（管理運営担当）兼事務局長
監事（非常勤）	紺野 邦武	株式会社福島銀行取締役社長
監事（非常勤）	高橋 宏和	公認会計士

6 職員の状況

常勤教員 400名
常勤職員 1027名（平成21年5月1日現在）

7 学部の構成及び定員

医学部	医学科	入学定員	100人
看護学部	看護学科	入学定員	80人
大学院	医学研究科（博士課程）	入学定員	37人
	医学研究科（修士課程）	入学定員	10人
	看護学研究科（修士課程）	入学定員	15人

8 学生の状況

医学部	医学科	519人
看護学部	看護学科	357人
大学院	医学研究科（博士課程）	124人
	医学研究科（修士課程）	15人
	看護学研究科（修士課程）	33人

〈事業の実施状況〉

第1 大学の研究研究等の質の向上

1 教育に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P12～13の「教育に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

2 研究に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P13の「研究に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

3 地域貢献に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P14～P15の「地域貢献に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

4 国際交流に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P15の「国際交流に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

5 大学附属病院に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P16～P17の「大学附属病院に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

第2 業務運営の改善及び効率化

1 運営体制の改善に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P18の「運営体制の改善に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

2 教育研究組織の見直しに関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P19の「教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

3 教職員の人事の適正化に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P19の「教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

4 事務等の効率化・合理化に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P20の「事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

第3 財務内容の改善

1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P21の「外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

2 経費の節減に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P21の「経費の節減に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

3 資産の運用管理の改善に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P21の「資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

第4 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価

1 自己点検・評価の実施に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P22の「自己点検・評価の実施に関する具体的方策」の「計画達成の状況」欄を参照。

2 第三者評価の実施に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P22の「第三者評価の実施に関する具体的方策」の「計画達成の状況」欄を参照。

3 評価結果の活用に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P22の「評価結果の活用に関する具体的方策」の「計画達成の状況」欄を参照。

第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供

大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P23の「大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策」の「計画達成の状況」欄を参照。

第6 その他の業務運営

1 施設設備の整備・活用等に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P23の「施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的方策」の「計画達成の状況」欄を参照。

2 健康管理・安全管理に関する実施状況

別添「平成20年度業務実績報告書」P23の「健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置」の「計画達成の状況」欄を参照。

第7 その他

1 予算（人件費見積を含む。）、収支計画及び資金計画

別紙のとおり。

2 短期借入金

該当なし。

3 重要資産の譲渡又は担保

該当なし。

4 剰余金の使途

平成19年度決算において発生した剰余金について、教育・研究及び診療の質の向上及び組織運営の改善目的のための積立を行った。

5 県の規則で定める業務運営事項

（1）施設及び設備に関する計画

別添「平成20年度業務実績報告書」P133の「4 その他の評価」の欄を参照。

（2）人事に関する計画

別添「平成20年度業務実績報告書」P133の「4 その他の評価」の欄を参照。

（3）積立金処分に関する計画

該当なし。

別 紙

1. 予 算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
収 入			
運営費交付金	7,827	7,827	0
補助金	352	377	25
自己収入	16,056	16,905	849
授業料及び入学金、検定料収入	688	717	29
附属病院収入	15,221	15,961	740
財産収入	37	38	1
雑収入	110	190	80
受託研究等収入及び寄附金収入等	823	993	170
長期借入金収入	1,529	1,467	△ 62
目的積立金取崩	252	337	85
計	26,839	27,906	1,067
支 出			
業務費	25,493	25,808	315
教育研究経費	3,967	4,142	175
診療経費	18,739	18,816	77
一般管理費	2,787	2,850	63
施設整備費	412	418	6
受託研究等経費及び寄附金事業費等	823	899	76
長期借入金償還金	111	96	△ 15
計	26,839	27,220	381
収入－支出	0	686	686

(注) 金額の端数処理は百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

2. 人件費

(単位：百万円)

区 分	当初予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
人件費	13,649	13,252	△ 397

3. 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
費用の部	25,606	25,978	372
經常費用	25,595	25,754	159
業務費	23,499	24,121	622
教育研究経費	523	1,379	856
診療経費	8,553	9,227	674
受託研究費等	774	264	△ 510
人件費	13,649	13,252	△ 397
一般管理費	1,165	415	△ 750
財務費用	111	41	△ 70
雑損	0	0	0
減価償却費	820	1,177	357
臨時損失	11	224	213
収益の部	25,334	26,470	1,136
經常収益	25,334	26,281	947
運営費交付金収益	7,523	7,217	△ 306
補助金等収益	351	340	△ 11
授業料収益	573	490	△ 83
入学金収益	101	104	3
検定料等収益	18	20	2
附属病院収益	15,221	15,976	755
受託研究等収益	334	415	81
寄附金収益	438	453	15
財源措置予定額収益	0	387	387
資産見返運営費交付金等戻入	174	36	△ 138
資産見返補助金等戻入	44	4	△ 40
資産見返寄附金戻入	27	24	△ 3
資産見返物品受贈額戻入	530	593	63
財務収益	0	3	3
雑益	0	219	219
臨時利益	0	189	189
純利益	△ 272	491	763
目的積立金取崩額	67	28	△ 39
総利益	△ 205	519	724

(注) 金額の端数処理は百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

4. 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
資金支出	26,587	30,538	3,951
業務活動による支出	24,983	24,083	△ 900
投資活動による支出	1,493	6,158	4,665
財務活動による支出	111	297	186
次期中期目標期間への繰越金	0	0	0
資金収入	26,587	29,843	3,256
業務活動による収入	25,058	25,556	498
運営費交付金による収入	7,827	7,827	0
補助金による収入	351	148	△ 203
授業料及び入学金、検定料による収入	688	711	23
附属病院収入	15,221	15,714	493
受託研究等収入	361	366	5
寄附金収入	462	557	95
その他の収入	148	234	86
投資活動による収入	0	2,819	2,819
施設費による収入	0	0	0
その他の収入	0	2,819	2,819
財務活動による収入	1,529	1,467	△ 62
長期借入金による収入	1,529	1,467	△ 62
前期中期目標期間からの繰越金	0	0	0

(注) 金額の端数処理は百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。